愛知県ハンガリー友好協会会報

2023 年春号

日毎に春らしくなって参りました今日この頃ですが、愛知県ハンガリー友好協会の会員の皆様におかれましては、いかがお過ごしでしょうか。

当協会では、この 5 月と 6 月に次の行事を開催いたします。皆さまと会場でお会いできることを心待ちにしております。

・ハンガリー映画鑑賞会

日時：5 月 14 日（日）午後 1：00 開場　1：30 上映

会場：名古屋国際センター3F 第 2 研修室

映画タイトル：「人生に乾杯！」

ハンガリーのイメージビデオ約 10 分上映(リスト・ハンガリー文化センター提供)

ペーチ・エゲル・ショプロン・バラトン・トカイなど

おみやげ付き（シュニのポガーチャ 3 個）

参加は会員のみ　　入場料無料

・第 5 回ハンガリー刺繍サークル作品展

日時：6 月 23 日(金)～25 日(日)　10：00～18：00

会場：チカシンギャラリー栄

ハンガリー刺繍サークルは 2003 年春から始まり 20 年になり現在約 20 名が楽しんでいます。

カロチャ、マチョー、ベーケーシュ、イラーショシュ、シャールクジ、シオアガールド、ベレグなどなど、ハンガリー各地の刺繍を展示します。

なお、サークルでは年 1 回各地の刺繍の歴史や特徴について早稲田みか先生に講演をお願いしてます。

新入会員紹介！

昨年 12 月 18 日（日）に名古屋国際センターにおいて開催された「クリスマスのお菓子を作りましょう！」で、お菓子「ベイグリ」作成の指導をしてくれたフドワーリ・アンドラーシュさんと奥様の野土香さんに会員になっていただきました。

はじめまして。フドワーリ　アンドラーシュと申します。

日本へ移住して今年で８年。妻の野土香との結婚を機に日本へ渡ってきました。

日本に興味を持ったきっかけは、ハンガリーで放送されていた日本の番組でした。日本の伝統文化や美しさを知り「いつか日本へ行ってみたい」と思うようになり、ハンガリーで日本語の勉強を始めました。

妻と知り合ったのは、日本語の上達のため日本人のペンフレンドを探していた時です。国際交流会に参加して、たくさんの日本人の方と文通やメールのやり取りをしていました。妻は英語を学びたくて国際交流会に参加していましたが、日本語ペラペラの私と出会い、結局英語は上達しなかったと言っていました。（笑）

お互いに文通を始めた頃はまさか結婚するとは思ってもいませんでしたが、実際に日本で会ったことをきっかけに交際が始まり、交際三ヵ月で結婚を決めました。いわゆる、スピード国際結婚というやつです。（笑）

ハンガリーで挙式をし、日本では結婚パーティをしました。ハンガリーの挙式では、日本や世界でも有名なプリースト、ネメシュヘジ・ペーテルさん（日本では「ペトロ・ネメシェギ」という名前で知られている）にお願いしました。ハンガリーの教会で、日本語で式を執り行っていただきました。

去年の２０２２年８月に待望の第一子が誕生し、我が家はますます賑やかになりました。

日本へ移住する前は、趣味が高じてハンガリーで日本語を教える仕事をしていました。今は日英などの翻訳の仕事をしています。

私の両親は代々パティシエをしており、今は引退して閉店してしまいましたがブダペストで小さなお菓子屋を営んでいました。私も料理やお菓子作りが好きで、料理の専門学校を卒業し、今は趣味で天然酵母菌を作り、毎週末パンを焼いています。いつか天然酵母パンやハンガリー料理の店を持ちたいな、と思っています。

義理の母は現在北名古屋市でシフォンケーキの店を営んでいます。もっちりふわふわのシフォンケーキで、季節限定の味などもありとても美味しいです。義理の母は私の国、ハンガリーをとても気に入ってくれており、店の名前もハンガリー語です。Süni（シュニ）はハンガリー語で「ハリネズミちゃん」という意味で、私の父も大好きな動物です。

Süni
幸せを運ぶ
ケーキ屋さん！

義理の母の店ではシフォンケーキ以外にもハンガリーの焼き菓子や、毎年１２月には私の家の伝統レシピで作ったハンガリーのクリスマスのお菓子、ベイグリの販売も行っています。店内はたくさんのハリネズミがおり、ハンガリーの刺繍やハンドメイドアクセサリーなども置いているので、興味のある方はぜひお立ち寄りください！

愛知県ハンガリー友好協会の皆様とハンガリーについて、これからたくさんお話しできることを楽しみにしております！

フドワーリ　アンドラーシュ・野土香

店舗情報
Süni　幸せを運ぶケーキ屋さん！
愛知県北名古屋市二子栄和３１番地２
https://suni-cake.com/

夢実現の為の旅、ハンガリーへ
～雅楽，龍笛の調べに乗せて～

宮永　早苗・安珠

次女の大学卒業を機に１２年ぶりにハンガリーを訪れる事になり、我が家の夢であり目標としてきた事の実現の旅となりました。本来なら２年前に長女の大学卒業の時にも計画していたこの旅行、コロナ禍の混乱時期と重なり親子三人の目標達成は儚く消えてしまった経緯があり、次女と二人旅にはなりましたが色々な意味で力の入る旅となりました。

我が家は、主人の仕事の関係でハンガリー生活をする機会を得たのですが、この次女がハンガリーで最初に迎えた誕生日が２歳の誕生日、入国して４か月目の事でした。その彼女が今回、ハンガリーの地で２２歳の誕生日を迎え、２０年という時間に色々な想いの詰まった誕生日となりました。コロナ禍を乗り越えて、あの頃に知り合った全ての方々にお祝いを頂き、無事にこの時期を過ぎることが出来、感謝し、安心した気持ちにもなりました。

英雄広場での写真

次女の誕生日会

今回は、本帰国後、次女の安珠が日本人として何かしら日本の文化を身につけようと努力してきた事、そしてその日本文化をハンガリーの地で披露、紹介することを目標にして学生時代を過ごし、いよいよその時が来た！という旅になります。

その日本文化が、日本の伝統音楽である「雅楽」です。安珠が雅楽を学び始めたのは、小学校５年生になった時、学校内の部活動での事となります。全国に３校しかない雅楽部、しかも古典の楽譜で学ぶ唯一の小学校であると聞き、習い始める事になりました。次女にしてみたら、演奏会後にお菓子が貰える部活、友達の多くが参加しているという事が学び始めた理由という記憶のようです。

小学校卒業の時には部活動として雅楽師の東儀秀樹氏とのジョイントコンサートを経験しました。部活動は小学校卒業と同時に卒業になりましたが、「日本文化を身につけてハンガリーに行き披露しよう！」と、お稽古を続ける事になりました。それが今回のハンガリー旅行に繋がるわけです。

中学校以降は、地元の雅楽団で指導を受けつつ地元の神社や寺院での祭礼の演奏のお手伝いをして経験を積み重ねています。次女が高校一年生の時に再び東儀氏とのコンサートの機会に恵まれました。その時、高校三年生の長女が自分もコンサートに参加したいと雅楽の世界に飛びこみ, 笙という楽器の技術を身につけて姉妹で楽人になったのはこの時期からです。

今は２人とも雅楽専門の演奏家に出会い指導を受けながら、コンサートにも参加させて頂いています。長女が今回ハンガリーに伺うことが出来なかったのは残念ですが、いつか必ず笙の音色をハンガリーで響かせてみたいものです。

現在雅楽は、日本人にもあまり馴染みの無い世界ではないでしょうか？今では担い手も少なくなり継承する人々の高齢化といった問題を抱える雅楽団もあります。なんとか次の世代にも受け継いで行きたいところです。

その雅楽を、龍笛という横笛の楽器を元にその他の楽器や楽曲の紹介、舞楽の紹介、雅楽そのものの紹介と言った内容で一つの会場で約４０分の披露を行いました。

せっかくの機会なので、装束をハンガリーに持ち込み、装束姿での演奏！まず雰囲気から雅楽の世界へ誘います。お客様も普段見る事のない衣装に、日本を感じて頂けたようです。

演奏は、雅楽というと『神社のアレ』と言われる【越天楽】、ちょっとテンポの良い世界観の説明がわかりやすい【抜頭】【五常楽急】を古典として演奏しました。対象が日本文化に興味があるハンガリーの方々や、ハンガリーで暮らす日本の子ども達であったので、龍笛の音階にない音がある現代音楽を、何とか音起こしした【ジブリ音楽】と、宗教音楽でもある【アメイジンググレイス】を披露して雅楽紹介としました。

古典音楽はやはり少し難しいといった雰囲気でしたが、演奏の手順や、曲の作られた背景の言われなどを前置きしての演奏によりイメージがしやすく、「なるほど！」と言った表情が見て取れてテンポ良く披露出来たように感じます。

音楽を勉強されている方々には、雅楽の楽譜に驚かれ、不思議そうにご覧になられていました。

A császári udvar zenéjét is elhozták Siófokra

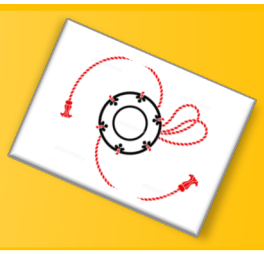
Megszólalt a sárkány

SIÓFOK Bekúszálva a Tavel-Kelet egy debütáns Siófokra klasszikus japán zenei előadást tartottak szerdán a helyi művészeti iskolában, a telt házas rendezvényen százanál is többen vettek részt. Nagy sikert aratott a találkozó, amit a Somogyiak Barátti Köre rendezett meg, s a látogatókat az összefonódó szögén japán tűzval és sütteményekkel is megkínálták.

Miyanaga Anju, a Japánból érkezett negyedéves egyetemista a gagakut, a császári udvar zenéjét mutatta be az érdeklődőknek, s ezután ryuskin, egy harántfuvolán játszott. A japán hagyomány szerint ez a hangszer a sárkány szárnya.

Bakos Péter régész-történész, középiskolai tanár nyi-

Megszólaltatták a gagakut　Fotók: Németh Andr



今回、日本人学校、日本人補習校はじめ、ブダペスト市内にあります日本語学科を持つ高校、そして私立の日本語学校。又ブダペストを離れてバラトン湖のほとりの街 Fonyód 市の高校、Siófok 市の音楽学校。６ヶ所の会場で雅楽披露をしてきました。どの会場も、演奏があることを聞きつけ覗いてくださる方も多く、大盛況のうちに演奏を終えることが出来ました。この演奏から、日本に対する理解を得ていただき、日本文化に興味を持って頂けたと思います。

最後にこの公演に際し、多くの方々にご理解を頂き、御尽力を頂きました事に感謝申し上げます。「次はいつ来る？」という嬉しいお誘いが多くあり、私たちには「雅楽団を引き連れてハンガリーで演奏する」という新たな夢ができました。この夢に向かって次回もハンガリーと日本の橋渡しをしたいと思います。

今回の雅楽演奏でご尽力くださった方々

ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団ニューイヤーコンサートに行ってきました！

フルディ満名実

「Hajrá, magyarok！」
最後にハンガリーフィルの生演奏に心震えたのは、留学生だったころ。故コチシュ・ゾルターン氏が指揮するリスト音楽院ホールでのことです。世界的に有名なリスト音楽院を有する素晴らしい文化を持つハンガリー・ブダペストで音楽を学んでいた頃の楽しい思い出が、キラキラと蘇ってきました。

開演前、相棒である楽器と共にオケの方々がさわさわと入場されました。
「ハンガリー語をお話になる皆様、遠くから来てくださってありがとう！」
ハンガリー語のつぶやきが湧いてきた瞬間、私の心は、一瞬にしてブダペスト・ドナウ上空へと舞い上がりました。不思議と、街の匂いまで感じます。鳥のさえずりや、ハンガリー語のざわめきも耳に蘇ってきました。

「きっと、リスト音楽院で勉強したのだろうな、この中には、私がかつて教えてもらっていた先生を知っている人もいるのだろうな」…指揮者である小林研一郎氏が入場されるまでの間、様々に妄想を膨らませながら、期待と緊張の溢れる会場の空気観を味わっておりました。
『エグモント』も、ブルッフのヴァイオリンコンチェルトも『新世界』も、繰り返し鑑賞してきた大好きな作品ばかり！しかも、ステージに並んでいる方々は、つい最近まで、あの、私の大好きな国、ハンガリーにいらした方々です！そんな皆様の奏でる、人間味あふれる音色が空間を震わせた瞬間、私の心の声を代弁するかのような、篤い、感動の涙があふれてきました…！そして、ゆったりと音楽を楽しむことのできる環境に、ありがとう！と、感謝の気持ちでいっぱいになりました。

2023 年 1 月 19 日(木) 愛知県芸術劇場コンサートホールにおいて、ハンガリー国立フィル創立 100 周年記念コンサート 小林研一郎指揮　ハンガリー国立フィルハーモニー管弦楽団　ニューイヤー・コンサートが行われました。

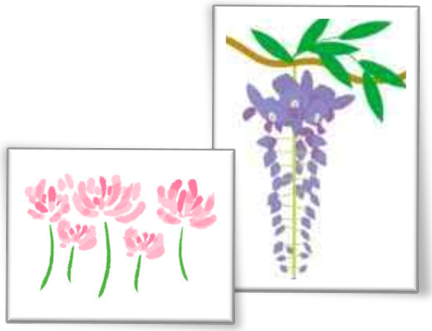
「アンコールには何を選ぶのかしら？」
しっとりとした、丁寧な音色…しんとした会場に、『鳥の歌』が流れ始めました。愛する家族、愛する友人との絆を紡ぐ同じ人間として、平和を願う気持ちに国境はありません。会場全体が終戦を祈った瞬間でもありました。

後半は華やかに感動的で、匂うような音の洪水にのみこまれる体験をしました。コバケン氏の指揮にのせて、ハンガリーの皆さんがのびのびと、音楽を楽しんでいる演奏！技術があるからこそ、の、自由に楽器を操るさまは見事です！まさにハンガリー、まさにブダペストの美…！

まろやかに響くピチカート、心地よく響く三連符、そして切れの良い音の連なり…！コバケン氏の動きから、どんな音が紡がれるのかが伝わってきます。そして、フレーズの折り重なりが大きな流れとなって、会場いっぱいに拡がります。
なんてすばらしい世界なのだろう…！

音楽を生涯の友に選び、学ぶことが出来て本当に良かった、と魂が震えました。そして、リスト音楽院で学ぶことのできた自分を誇りに思った一日でもありました。

展覧会案内
「やきものにうたう：ハンガリー現代陶芸展」
2023 年 4 月 22 日　～　7 月 2 日
岐阜県現代陶芸美術館　ギャラリー I
https://www.cpm-gifu.jp/museum



2023 年春号をお届けします。5 月には「ハンガリー映画鑑賞会」、6 月には「ハンガリー刺繍サークル作品展」を行います。会員のみなさまのご参加をお待ちしています。
みなさまからのご意見や情報、記事などをお待ちしています。

愛知県ハンガリー友好協会
E-mail: ambt@hotmail.co.jp
http: //aicsimagyar.sakura.ne.jp/wp/